

＜研究代表者＞

石川知子:名古屋大学大学院国際開発研究科／教授



＜専門分野＞ 投資法、企業の環境・人権責任、CSR、ESG、国際経済・環境・人権法など

＜Webページ＞

<https://www.h2governance.gsid.nagoya-u.ac.jp>

＜研究目的・概要＞

- 様々なアクター間の分断や対立が有効な気候変動緩和対策の推進を妨げている現状
- 低炭素水素事業に対する政策・投資機運の高まり



低炭素水素事業を題材に、包摂的協調に基づく気候変動ガバナンスに向けた包括的的制度設計を提案

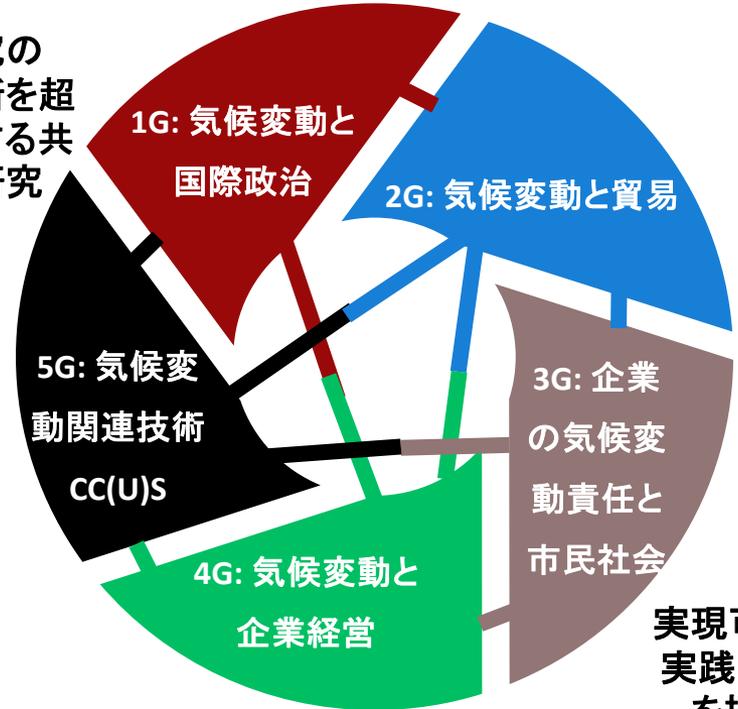
- 法学・政治学・経済学・経営学・化学工学の視点から、5つの分析グループ(右参照)を設定
- 各グループの連携により、分断と対立の要因を分析し、協調のための課題を特定



低炭素事業が有効な気候変動対策として持続的に発展するための有益な実務的示唆を提供し、脱炭素社会の早期実現に向けた一つの具体的な道筋を社会に提示

＜研究計画の特徴＞

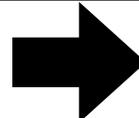
研究の分断を克服する共同研究



実現可能な実践・対策を提言

＜目標とする研究成果:将来展望＞

- 気候変動に係る外交・安全保障政策の知見提供
- 最適なエネルギー貿易制度設計の提示
- 国・企業の行為規範を提示し、社会的分断を防止
- 社会システム論に気候変動アプローチの新たな学術的知見を提供
- 技術の国際連携に向けた企業との連携、社会実装



気候変動・エネルギー安全保障関連の学際的・国際的研究拠点へ